※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	（学）芸術	科目	（学）音楽研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な作品を通じて音楽の果たす役割を考えていきます。
オペラ・ミュージカルなどの総合舞台芸術を通じて現代社会の中の文化、問題などを実感し、その問題解決を考える機会を持ちます。音楽の良さや美しさを言葉や文章を用いて批評活動すると共に、幅広い音楽に触れ、言葉や文章で表現し、意見交換を行います。

２　学習の到達目標

鑑賞活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を養う。
音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
１　曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや､音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３　主体的･協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、自己とのイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ミュージカル作品を鑑賞しよう	【鑑賞】 サウンドオブミュージック ウエスサイドストーリー	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。（知識） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート
二学期	オペラ作品の鑑賞しよう	【鑑賞】 魔笛 メリーウィドウ	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。（知識） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	様々なミュージカル作品	【鑑賞】 オペラ座の怪人 キャッツ	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。（知識） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度